



第 22 回 DIA 日本年会 2025 参加者の声

日本の年会も成長を続け、規制当局との対話の場も得られる米国並みの場となってきたと感じています。産官学の観点から、アカデミアへも DIA の意義をより広報頂けると良いなと強く感じました。

来年以降も市民公開講座（なおかつ、患者会又は一般の方が議論に参加できるような形）のセッションが行われるとよいと思いました。

初めて参加させていただきました。どの時間帯もととても興味がわくテーマにさせていただき、全てを聴講できなかったことが残念でした。

年会のテーマのもと、明日の未来に向けてのテーマがたくさんあり、大変勉強になりました。一方で現状着目されているのががん領域が多いのは認識しておりますが、今回の学会もがん領域の話が多いような印象を持ちました。私自身はがん領域の研究を支援していないから余計にそう感じたのかもしれませんが、医療機器や再生医療や幅広くテーマがあればよいなと思います。

Ask the speakers を利用して発表者に質問できる制度はとても素晴らしいと思います。セッションの最中で聞けないこともありますし、直接話せる場を設けていただくことで、コミュニケーションがとりやすくなっているように感じました。活用されている場面も多くみられました。

最新の医薬品開発において関心事となっているテーマが多く、セッションの内容がどれも興味深く感じました。時間の配分も丁度いいバランスで構成されているセッションが多く、パネルディスカッションや質疑応答の時間もちょうどよいと感じました。

ショートコースに参加しましたが、様々な業界の方とグループディスカッションをするとても貴重な機会です。新たな視点も学ぶことができましたので、是非今後も参加型のコースを継続いただきたいです。

チャットセッションのコラボレーションは良かったです。コミュニティ間のコミュニケーションも増え、チャットに参加された方も様々な視点でお話できて参加しやすかったのではないかと思います。

初めて DIA 年会に参加しましたが、チャットセッションでテーブルごとにトピックが決められており、ファシリテーターの方が上手く輪の中に入れてくださったので、初めてで知り合いが誰もいない状態でも、知らない方と情報交換することができ、貴重な機会になりました。

<年会サポーター> 39 名の方に参加いただきました。

今回、年会サポーターとして参加させていただきました。予算の面から、社内から参加できる人数が制限されていますので、このような形で参加できる機会が得られ非常にありがたく感じています。運営サポートの中で OT の方と交流する機会も得ることができました。今回、三日間を通して私自身が多くの学びを得ることができましたので、ぜひ今後も年会サポーターを設定いただき、若手の参加の機会を増やしていただければ幸いです。

年会サポーターのような枠を用意していただいたことで、なかなか高額な年会に自分から参加を打診しづらい若手にも手挙げするチャンスを用意していただけたと思っています。業務内容も多すぎず、スタッフとして参加しつつ、その他のセッションや展示等にふれる機会もあり、非常に勉強になりました。

DIA 年会サポーター制度がとても良かったです。学会にあまり参加したことの少ない私でも参加しやすかったです。他社の若手の方とも知り合う良い機会になりました。参加費のディスカウントも有難いと思いました。この制度を活用することで、DIA 参加者のすそ野を広げることが出来るのではないかと考えております。私も、友人に DIA サポーターについてはおすすめさせていただきました。